

平成23年度（2011年度）日本留学試験

日本語

(125分)

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。
それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～30
聴読解	31～45
聴解	47～50

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら、手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（H B）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**, **2**, **3**, …がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*					
名 前												

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。
解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400字から500字で書いてください
(句読点を含む)。

- ① 現代は科学技術が進み、私たちの生活は便利で快適になりました。一方、その科学技術によって、新たな問題も起きています。

このような科学技術の例を一つ挙げて、その利点と問題点を説明してください。

- ② 私たちは、運動競技や選抜試験など、いろいろな場面で競争をしています。

競争することの長所と短所について、例を挙げながら説明してください。

—— このページには問題はありません。 ——

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1. 2. 3. 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 次の文章は、大学で行われる講習会のお知らせです。講習会に参加したい場合、まず、何をすればよいですか。

1

救命講習会のお知らせ

私たちは、いつ、どこで、突然のけがや病気におそわれるか予測できません。

緊急の場合は、もちろん救急車を呼びますが、救急車が到着するまでにできることがあります。この講習会では、医学や救急の知識のない人にもできる救急蘇生法などを、実際に行いながら、わかりやすく学ぶことができます。大切な命を救うために是非、多数参加してください。

日 時：7月3日（水）15:00～18:00

場 所：山中キャンパス 学生交流棟3階「練習室」

主 催：北摂大学学生生活委員会

内 容：模擬訓練

※実技が中心ですので、動きやすい服装で参加してください。

協 力：山中市消防本部

申込先：学生センター（学生交流棟1階）

定 員：30名（定員を超えた場合は抽選となります）

申込締切：6月28日（金）まで

1. 講習会当日15時までに会場に行く。
2. 6月28日までに学生センターで申込をする。
3. 申込締切日までに学生交流棟の練習室で申込をする。
4. 7月3日に学生センターでの抽選会に参加する。

II 次の文章で、下線部「燃料を多く積めばそれでいいかというと、そうはいきません」の理由として、最も適当なものはどれですか。

2

冬場の国内線で目的地の悪天候が予想されるときは燃料を多めに持っていきます。ところが燃料を多く積めばそれでいいかというと、そうはいきません。もし目的地の天気が予想よりもよくて、何の障害もなく着陸できたとすると、かなり重い重量で着陸することになります。滑走路の状態によっては、この重量では止まりきれないことが起こります。

さらに、場合によっては、着陸はできるけれども、帰りの便でお客様や荷物が満載され、短い滑走路ではそのままの燃料では離陸できないということが起こります。いったん飛行機に積んだ燃料を降ろすのは、時間がかかるうえに様々な制約があって現実的ではありません。パイロットは燃料を積むときに、その便の着陸と同時に次の便の離陸まで視野に入れて考える必要があります。

(坂井優基『飛行機の操縦』PHP研究所)

1. 燃料が増えると乗客の荷物の重さが制限されるから
2. 燃料を積むのにはかなりの手間がかかるから
3. 燃料を積むことができる量には限度があるから
4. 機体が重いと離着陸に問題が生じことがあるから

III 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

3

私の少年時代は九州で、台風が東京より身近だった。高度経済成長を迎える十数年も前のことだが、日本人は生活そのものに一生懸命だった。総じて貧しかったが家族の絆^{きずな}は強かった。夏休み、ラジオの台風情報は我々を緊張させた。…（略）…

しかし一方で何故か子供たちを浮き浮きさせるものがあった。家族が結束するからだ。普段あまり顔を合わせない兄が居たり、チョコマカと騒ぎまくる幼い弟や妹までが神妙な顔をして親の言うことをよく聞いた。慣れぬ手つきで雨戸に釘を打つ父親も頼もしかったし、停電に備えてローソクを用意したり、夜食を作る若々しい母親の姿も懐かしい。台風の上陸は、まるで家族が全員で旅行に出掛ける前夜のように家中を結束させた。

（松永真「台風前夜」朝日新聞2002年8月23日）

1. 昔はラジオの台風情報がいちばん正確だった。
2. 台風が近づくと、弟や妹がチョコマカと騒いだ。
3. 家族旅行の前夜に台風が来て大変だった。
4. 台風が来ると、いつもと違う家族の姿が見られた。

IV 次の文章で、筆者が賞の候補になったとき、筆者の母親はどのような態度でいましたか。

4

今まで、何かの賞の候補になって、発表があるたび、真っ先に母に電話をしていた。けれど受賞したと告げても、おめでとう、と電話口で叫んでくれるような母ではなかった。あら、そう、よかったですじゃない。その程度。母は私に、ごくふつうに勤め人になりごくふつうに結婚してほしかったようだから、ものを書いて暮らしていることはあまりおもしろくないのだろうと思っていた。

その母が、二年前、*直木賞に落選したとき笑ってこんなことを言った。「落ちたって電話もらって、仏壇の鐘を思いきり鳴らしちゃった。おとうさん、なんで娘を応援しないのって、八つ当たりよ」

私が本を出そうが賞をもらおうが興味ないんだと思ってた、と驚いて言うと、「やあね、前からずっと、何かの候補になったと聞きたびに、おとうさんに頼んでたわよ、娘なんだから賞ぐらいあげなさいって」と母は言うのだった。賞をくれるのは二十年前に亡くなった父ではなくて選考委員だよ、と私は笑ってしまった。二十四歳のときから、賞に落ちたのは十一回ある。そのたび母が仏壇の鐘をやかましく鳴らしていたのかと思うとおかしかった。父はさぞひやひやしただろう。

(角田光代「直木賞の知らせ」読売新聞2005年1月20日夕刊 より一部抜粋)

*直木賞：作家に贈られる賞のひとつ

1. 賞をとることをおもしろく思っていなかった。
2. 賞をとれるかどうかにはほとんど関心がなかった。
3. 賞をとれるようにと自分なりのやり方で応援していた。
4. 賞をとることに自分が協力できないことを悩んでいた。

V 次の文章は、インタビュー記事について書かれたものです。筆者が考える「いいインタビュー記事」として、最も適当なものはどれですか。

5

世の中にはいいインタビューと悪いインタビューがある。

いいインタビューとは、たとえば実際の発言をうまく再現できたもの。これは読んでいて（も、映像で見ても）楽しい。頭のなかでは、話し手の肉声が聞こえている。
…（略）…

悪いインタビューはその逆で、発言の趣旨だけ並べたようなものだ。なんだか報告書を読んでいるようでつまらない。やっぱり話し手の身振りや息づかいや性格までが伝わってくるようなものじゃないとね、と思う。

報道というものが「誰が何をしたか」を伝えるものだとすれば、インタビューは「誰が」のほうに比重がかかっている。つまり、「何を」語るかよりも、「誰が」語るかが注目される。ならば、その「誰が」の部分がうまく表現できていないインタビューは失敗だ。

（永江朗『インタビュー術！』講談社）

1. 読み手に対し、話し手についてのいい印象を与えるもの
2. 聞き手の、問い合わせの内容が的確であるもの
3. 読み手に対し、話し手がどんな人であるかをよく伝えるもの
4. 話の内容が、うまく整理されて伝わってくるもの

VI 次の文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

6

読書が学習のすべてではない。本を読んだだけではわからないことはたくさんあるし、本を読むことより効果的な学習方法もたくさんある。もちろんそれは学習者がどのような主題について学習しようとしているかによっても大いに異なってくる。…（略）…指導者・助言者の人柄に直接ふれて学ぶこと、＜一回性＞の体育・文化活動に参加してその場でしか得られない感動を味わうこと、仲間を作り互いに学び合い高め合うこと、その仲間グループを組織的に発展させたり他のグループと交流を図ったりすること、ボランティア活動その他の社会活動に参加して経験を重ね人との新しい交流を求める事、それらはいずれも本を読むことによっては代替できない学習活動である。が、それらに読書というもう一つの学習方法を組み合わせることによって、学習の効果が一段と飛躍を見せることは言うまでもない。身近に充実した図書館があり、読むべき本の選択を手助けしてくれる有能な司書がいさえすれば、読書はいつでもできる、ひとりでもできる、どのような主題についても、どのようなレベルに合わせた学習でもできる、そういう便利な学習手段なのである。

（朝比奈大作「UNIT18学習情報の収集と提供」

朝比奈大作編著『図書館員のための生涯学習概論』日本図書館協会）

1. 読書は、様々な学習方法のなかで最も効果的な方法である。
2. 読書と他の学習を組み合わせることで一層の学習効果が出る。
3. 読書による学習は、他人との交流が得られないのが欠点である。
4. 読書は、体育や文化活動に関する学習にはあまり役に立たない。

VII 次の文章の（ A ）（ B ）に入るるものとして、最も適当な組み合わせはどれですか。

7

ふたりがお互いに向かい合ったままの姿勢で対面するとき、ふたりのあいだには、ある一定の距離が生じる。そのような距離空間のことを、かりに「対人間の距離」と呼ぶことにしよう。この対人間の距離のダイナミクスは、わたしたちの日常生活の場面における人間関係の問題を考えるうえで、きわめてたいせつである。

ふたりがお互いに向き合って立ち話をする場合、親密な間柄であれば、ふたりの距離はちぢまり、疎遠な間柄であれば、おのずとふたりの距離はひらくであろう。たとえば、学生が友人と話す場合と、教師と話す場合とでは、前者のほうが対人間の距離は（ A ）のがふつうである。あるいはまた、同じく教師に対する場合にも、より親しい教師に対しては、対人間の距離が（ B ）なることであろう。

(井上忠司『まなざしの人間関係』講談社)

1. A : 小さい B : 小さく
2. A : 小さい B : 大きく
3. A : 大きい B : 小さく
4. A : 大きい B : 大きく

VII 次の文章の（ A ）に入るるものとして、最も適当なものはどれですか。

8

かつて学校は多くの人たちに開かれた場所だった。毎日の放課後には校庭が子供たちに開放され、町の行事があれば、学校の施設が住民に開放されていた。しかし、今ではすっかり閉じた世界になってしまっている。先生たちに雑用をやらせたりせず、教育に専念させるようにしようとしている。その中だけで自己完結を目指そうとしているかのようである。しかし、このような変化は明らかに学校を悪い方向に向かわせているように私は思う。

子供たちは学校で一日の生活の大半を過ごす。したがって、学校という社会システムから大きく影響を受けるのである。門戸を閉ざし、面倒で異質なものを排除するようなシステムの中で仕事をする先生から教育を受けた子供は、自分と異質なものと付き合うことが苦手になってしまうだろう。だから、（ A ）ほうが、先生は子供に良い影響を与えるのではないかと思う。

1. 学校を開かれた場所にする
2. 先生の仕事から雑用を排除する
3. 学校は自己完結を目指す
4. 子供が学校に長時間いない

IX 次の文章ではコンクリート構造物に起こる異変について述べています。この異変の原因は何だと述べていますか。

9

近年、コンクリート構造物の異変が相次いでいます。これは、当初手抜き工事が原因ではないかと思われていましたが、実は「アルカリ骨材反応」が原因であることがつきとめられました。

アルカリ骨材反応とは、コンクリートの素材である岩石（骨材）に含まれるシリカという鉱物が強アルカリによって溶け出す現象です。岩石中には40~80%のシリカが含まれるため、シリカが溶けるということは岩石が溶けることであり、ひいてはコンクリートの崩壊につながっていたのです。シリカは安定した結晶の状態であっても、*pH10を越える高アルカリ性の水によって100**ppmほどが溶解します。安定しない***非晶質の状態ではさらに溶けやすくなり、pH10のアルカリで1,000ppmも溶解してしまいます。

(小林一輔『コンクリートが危ない』岩波書店 を一部改編)

*pH：物質の酸性・アルカリ性の度合いを示す数値。pH 7が中性。7よりも小さい数値が酸性、7よりも大きい数値がアルカリ性

**ppm：100万分の1を基準とする割合の単位。1 ppm= 0.0001%

***非晶質：結晶のような規則正しい構造をもたないこと

1. 強アルカリによってコンクリート中のシリカが溶けること
2. コンクリートを溶かすとシリカと岩石に分解されること
3. シリカを含む岩石がコンクリートのアルカリ濃度を高めること
4. シリカを混ぜるとコンクリートが非晶質の状態になること

X 次の文章は、スズメバチというハチについて書かれています。これを読んで後の間に答えなさい。

自然環境の豊かな地では、大木や地中にできた空洞は、巣をつくる場所として外敵からの攻撃をかわすうえでも一等地であり、また、大きく動きの鈍いチョウやガの幼虫は、一度に得られる肉の量からいっても格好の獲物であったと思われます。しかし、それらの第一級の資源はオオスズメバチを筆頭とする強い種に奪われてしまい、逆にキイロスズメバチのような弱い種は^{ぜいたく}贅沢をいえずに、どこにでも巣をつくり、何でも食べる、そして体のサイズは小さいけれど多産という戦略をとることにより、何とか息をつないできました。

強かったゆえに融通の利かなくなったオオスズメバチは都市化の荒波に飲み込まれ、キイロスズメバチは、逆にうまくその波に乗ることができたといえるのです。今までに経験したことがない速度で急激な変化をみせる環境の中でオオスズメバチは、巣をつくる場所を失い代替地も見つけられず、さらにその大きな体で捕獲できる大型昆蟲類も激減する中で、成す術もなく急激に勢力を落としていきました。それとは対照的に、残り物をうまく利用して生きてきたキイロスズメバチは、家屋やコンクリートのビルなどのもとあらゆる場所に上手に巣をつくり、住宅地で発生するハエやアブなどの小型昆蟲類はもちろんのこと、^{ひもの}干物や刺身などの残飯、空き缶に残ったジュースなど、今までの自然界では見たこともないような新しい食材に瞬く間に適応していくのです。

(小野正人「スズメバチの眼からみた都市化」唐沢孝一編『都市動物の生態をさぐる』裳華房)

問1 この文章で、オオスズメバチは都市化によってどのような影響を受けたと述べていますか。

10

1. キイロスズメバチから獲物を奪って、勢力を拡大した。
2. 人間の食べものなどを餌として、勢力を拡大した。
3. 巣を作る場所を失い獲物も激減したので、勢力を失った。
4. オオスズメバチを獲物にするハチが増えたので、勢力を失った。

問2 キイロスズメバチが都市化に適応できたのはなぜですか。

11

1. 体が大きく、チョウやガの幼虫といった獲物を捕まえやすかったから
2. 人間の食べ物を食べ、建築物を利用することができたから
3. 多産という新たな戦略で仲間を増やしていくから
4. オオスズメバチなどの天敵がいなくなったから

X I 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

私が思うに「できる」には二つの意味があります。

①決められたことを、スピーディに、かつまちがいなく処理する

②不測の事態に、今まで学んだことを（最適でなくても）ともかく組み合わせて対応する

*予習が有効なのは①の場合です。小学校での運動会の予行演習などがその典型といえるでしょう。

…（略）…

しかし、②のときにあっては、予習はかえって有害ですらあるのです。

①の場合で予習を重ねてきた人、その人は決まりきった“想定内”的ことが続いているかぎり、“できる人”です。ところが、なにかの拍子で不測の事態がボーンと起きたときに、そこでなにをしていいのか、わからなくなってしまいます。

パニックを起こすのならまだいい、誰かが取って代わればいいのですから。困るのは、いままで目前に起きた事態そのものを直視せず、

「これは異常なんだ」

「ありえない」

「こいつらがダメなんだ」

「こんなこと、おかしいんだ」

というふうに、否定することが起きる。

たとえば、どうも商品が売れない。すると、

（ A ）

という言いかたが出てくる。

お客様はそれぞれ自分の思いで買いにきているので、なにも売り手が予定していたとおりに使わなくてはいけない、なんていう決め事はありえない、それなのに「最近、お客様はまともじゃないんだよ」という言いかたをしたとしたら、それはこちらの想定外のものを否定することになるわけです。

**かかる精神を、私は「予習病」と名づけたいのです。

（高木幹夫他『予習という病』講談社）

*予習：まだ習っていないところを前もって学習すること

**かかる：このよう

問1 (A)に入るものとして最も適当なものはどれですか。

12

1. 「なぜ売れないんだろう」「よく分析してみよう」
2. 「客の反応がヘンだ」「最近、客がおかしい」
3. 「いい商品なのになあ」「もっと上手に宣伝しなきゃ」
4. 「作ったメーカーが悪い」「なんでこんなものを作るんだ」

問2 下線部「予習病」の指す意味として最も適当なものはどれですか。

13

1. 予習の必要性に気づかない。
2. 効果のない予習をする。
3. 予習しておかないと不安になる。
4. 予想外のできごとに対処できない。

X II 次の文章は、天文学の意義について述べているものです。文章を読んで後の問い合わせなさい。

20世紀半ばから始まった「宇宙開発」は、その動機はともあれ、宇宙についての知識や概念を大きく進展させ、そのことが哲学や文学や美術などに計り知れない影響を与えました。スペースシャトルや気象衛星、通信衛星などといったものを通じて、宇宙は私たちの生活や考え方へ浸透しています。これまで民族や国家単位でのことを考えたり、あるいはヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、アフリカといった大陸単位からの発想がせいぜいだったところへ、「地球」という宇宙からの視点が加わったのです。これは新しい理念の創出といつていよい出来事でした。

人類は古代から天空を眺めてさまざまな疑問を発し、その謎を解くための技術を考え、理論や思想をつくり上げてきました。そして今なお人類は、宇宙の果てを探り、宇宙の成り立ちや構造や運命を探り出そうとしています。もっとも古典的学問である天文学が最先端の技術を駆使して人類誕生以来の謎を解明しようとしているのです。そのことが、これからの人類の思想や理念にどんな変化をもたらすかは、私たち天文学者がそこで何を見出し、何を伝えられるかにかかっています。宇宙の謎を解明することは、人間の新しい思想や理念を創出することだと、そんなふうに考えることもできるのではないでしょうか。

(吉井謙『論争する宇宙』集英社)

問1 答者は、「宇宙開発」が人類にもたらしたことは何だと述べていますか。

14

1. 通信衛星などの開発を通して、情報伝達技術が発達したこと
2. 哲学や文学や美術と同じように宇宙にも人々の関心が向かったこと
3. 人々が地球規模でものごとを考えられるようになったこと
4. 人類がどのように誕生したのかが解明されつつあること

問2 答者は、これから的人類に対する天文学者の役割について何と述べていますか。

15

1. 宇宙の謎を解くために、より新しい技術開発に貢献する。
2. 人類誕生の謎を解いて、人々に新しい知識をもたらす。
3. 宇宙の謎を解いて、人類の将来を予測する。
4. 宇宙の謎を解いて、人々に新たな考え方をもたらす。

X III 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

外来生物とは何でしょうか。「外来」と聞くと、外国から来た生物だろうと思うかもしれませんが、そうとは限りません。生物の種や個体群の生息地には地理的区分があり、その区分境界線を越えると、外来ということになります。人が決めた国境などは重要ではありません。

また、外来生物は、人為的に移動させられた生物を指し、生物が自ら移動する場合は、これにはあてはまりません。例えば気流や海流に乗って移動する昆蟲やクラゲなどです。また自力で海や大陸を渡る鳥類なども外来生物ではありません。

外来生物は、本来の生息地とは違った場所に人為的に移動させられた生物ですから、多くの場合は、その環境になじめず定着できません。しかし、新しい環境に適応し、本来の生息地よりも繁栄し、在来生物や生態系に悪影響を及ぼす生物もいます。そのような生物を侵略的外来生物とよびます。例えば、日本のある島で以前、毒ヘビを退治するためにある生物が持ち込まれました。しかし、その生物は昼行性であり、夜行性の毒ヘビと野外で出会うことはほとんどなく、代わりに希少種のウサギや鳥を捕食しています。このような例が、日本国内で多く報告され、今大きな問題となっています。

(五箇公一「—生物多様性を考える—第7回 なぜ外来生物は増え続けるのか?」

『milsil (ミルシリ)』第3巻第1号 国立科学博物館 を参考に作成)

問1 この文章で説明されている外来生物とは、どのような生物ですか。

16

1. 国境を越えて移動する生物
2. 本来の生息地から人によって移動させられた生物
3. 海流に乗って他の大陸や島に移動した生物
4. 季節によって他の場所に移動する生物

問2 下線部「このような例」は、一般的な言い方をすれば、どのようなことを示していますか。

17

1. 在来生物が外来生物に危害を加えること
2. 外来生物が新しい環境に適応できないこと
3. 外来生物が在来の希少生物を捕食すること
4. 生物が自力で大陸間を移動すること

X IV 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

都市に住む人々の必要性や欲求は多様です。現代の都市では、人々が相互に依存するかつてのような生活スタイルから、個人の自由が最大限保証された空間で生活するスタイルに移行しています。都心部における高層住宅などがその代表例です。

その一方で、人々が豊かな人間関係を築くことを通じて「共同価値（*コミュニティ・ベネフィット）」を見出^{みいだ}そうとする動きも出てきています。

たとえば、あまり雪の降らない街で大雪が降れば、通行に支障がないように、近所の人々が次々に外に出て街路の雪かきを行う、というのがコミュニティ・ベネフィットの一つのかたちです。その中で、新しい交流が始まり、互いに自分たちが住む街への期待や不満を語り合うことになるでしょう。そのような自然な人間関係がコミュニティの形成につながります。同じ地域に住む生活者同士が、意図的に共同価値を見出す努力をすれば、コミュニティの形成は、さらに重層的に推進されるでしょう。

（奥田碩『人間を幸福にする経済』PHP研究所）

*コミュニティ：地域社会、共同体のこと。

問1 本文で述べられている「雪かき」のような「豊かな人間関係を築くことを通じて共同価値を見出そう」という活動の例はどれですか。

18

1. 地域の人々が集まって週に一度地元の公園や道路のゴミ拾いをする。
2. 地域の経済を活性化させるため近所の店で買い物をする。
3. 地域の人々に、自分の会社の製品を手紙やメールで宣伝する。
4. 地域の中でのプライバシーを尊重し、お互いに干渉しないようにする。

問2 現代の都市におけるコミュニティ形成に関して、筆者はどのように述べていますか。

19

1. 自立した都市生活者が増えることで、コミュニティの健全性が推進される。
2. コミュニティを拡大させることが最も優先されるべきである。
3. 共同作業の機会を得るうちに有意義なコミュニティが形成される。
4. 個人の自由が保障されコミュニティをつくる意義が失われてしまった。

X V 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

- ① 湖はどのようにして生まれ、そして変化していくのだろうか。日本では、火山活動によってつくられる湖が多く見られる。たとえば、火山の噴火によってできた火口に水がたまってできた火口湖や、火山活動によって火山の地面に陥没がおこり、そこに水がたまつたカルデラ湖とよばれる湖がある。また、断層がずれて地面が陥没したところに水がたまってできる湖や、川や海流の働きで海岸に砂が運ばれ、その一部が海から切り離されてできる湖もある。
- ② このように異なる要因でできた湖の深さはさまざまであるが、ほとんどの場合、時とともに水深が浅くなっていく。川から流れ込む土砂や湖の中で作られた植物プランクトンなどの有機物が、湖底に積もってゆくからである。湖が水深数メートルくらいまで浅くなると、湖底に光が到達しやすくなり、それまで湖岸にしか生えていなかつた水草がしだいに沖の方にも生えるようになる。やがて水草が湖全体に渡って生えるようになると、湿原が誕生し、さらに乾燥化が進んで草原となる。
- ③ 湖が、その誕生から草原になるまでにかかる年月は、生まれたときの深さなどで違いはあるが、だいたい数千年から数万年である。しかし、中には非常に寿命の長い湖もある。シベリアのバイカル湖（3000万年）や日本の琵琶湖（400万年）がそうである。これらの湖は誕生してからも地盤の断層活動によって、水深が深くなっているため、長い間浅くすることなくその姿を維持している。

（花里孝幸『ミジンコ先生の水環境ゼミ』地人書館 を一部改編）

問1 本文の第1段落（①）、第2段落（②）、第3段落（③）の内容として最も適当なものはどれですか。

20

1. ①湖の誕生する要因 ②湖の変化 ③湖の深さと寿命
2. ①湖の誕生と変化 ②湖の誕生した要因によって異なる深さ ③湖の深さと寿命
3. ①火山と湖の関係 ②湖の深さ ③バイカル湖と琵琶湖の共通性
4. ①湖の種類 ②湖の誕生と変化 ③湖の変化の典型的な例

問2 下線部「非常に寿命の長い湖もある」とありますが、寿命が長い理由として述べられていることは何ですか。

21

1. 川から流れ込む水の量が多いから
2. 水が澄んでいて有機物が少ないから
3. 地形的に土砂が流れ込みにくいから
4. 地盤変化によって湖が深くなっているから

X VI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

地方都市の特質は、市街地とその周辺に広がる農村、あるいは漁村などの地域との有機的な連携のもとに成り立ってきたことにある。

今日、地方都市の中心市街地が空洞化し、その再活性化に向けて「中心市街地活性化基本計画」をはじめ、さまざまな施策メニューが取り上げられているが、実は、⁽¹⁾中心市街地周辺の農村部はこうした事業の実施に冷ややかである。「中心市街地の課題も重要だが、農村部の道路整備や公共施設整備はどうしてくれるのか」といった声がすぐに聞こえてくる。中心市街地の活性化が周辺農村の人々の生活や経済活動に影響を及ぼしているという実感が得られなくなっているのである。市街地と農村との有機的な連携の希薄化がもたらしている問題性についての認識は、残念ながらそれほど深まっていない。

…（略）…

わが国の地方都市の中心市街地でも、昭和30年代、つまり高度経済成長期以前までは、周辺の農村や漁村からの生鮮野菜や魚介類が提供される朝市などの市場が成り立っていた。もちろん、農業や漁業を支える機械類、肥料、種苗などを扱う商店や、農産物や魚介類の食品加工業なども市街地に集積していた。

周辺の農村や漁村の人々は、市街地で生産物を現金化し、それで生産物資はもちろん衣類などの生活物資を買って帰っていくという日常スタイルであった。都市の人々には周辺の農村部の出身者も多く、秋祭りや彼岸や盆などの季節になれば、田舎に帰り旧交を温める光景が一般的であった。子供たちも義務教育を終えると、高校進学や就職などで市街地に通うようになる。

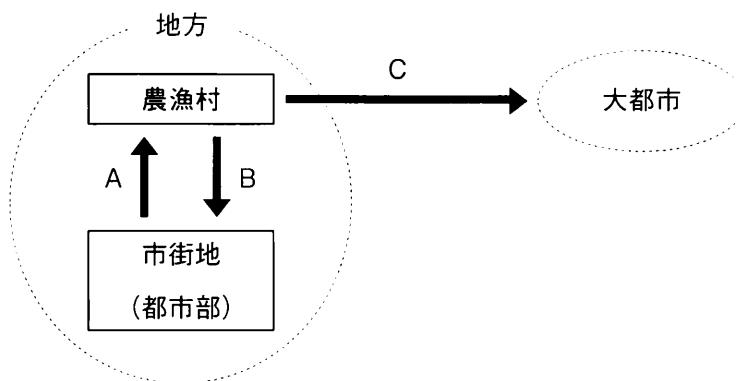
このように、市街地と農村部は経済的な関係だけでなく、きわめて密接な関連のもとに成り立っていた。しかし、高度経済成長期以降、この関係が大きく転換していった。製造業を中心とした経済成長政策の推進によって、大都市へのおびただしい人口移動が進み、⁽²⁾全国の農村部は、製造業を中心とした都市型産業の担い手の供給源であるると同時に、大都市に対する生鮮野菜など農作物の安定供給のために、農作物の主産地形成や流通システムが整備されていった。

つまり、全国の農漁村の生産物は、地方における都市部と農漁村との関係を超えて、大都市への供給という関係へと変わってしまった。それぞれの地方の農作物や海産物は、全国的なブランドに仕立て上げていくことで大都市市場に送り込まれるようになり、もとも

との地方における都市と農村との関係が弱まっていたのである。

(鈴木浩『日本版コンパクトシティ』学陽書房)

問1 次の図は、本文で述べられている地域間の連携を表したもので、図中のA～Cは人やモノ、お金の流れを示しています。この図について下の①、②に答えなさい。



① 昭和30年代のAにあてはまるものはどれですか。

22

1. ブランド化した産物
2. 生産物資や生活物資
3. 労働力
4. 農産物や海産物

② 高度経済成長以降、特に強まったのはどれですか。

23

1. A
2. B
3. C
4. AとB

問2 下線部(1)「中心市街地周辺の農村部はこうした事業の実施に冷ややかである」要因
は何ですか。

24

1. 中心市街地だけでなく、農村部も空洞化が進んでいるから
2. この事業が農村と中心市街地との連携を弱くしてきたから
3. 農村部の人たちは将来のことより現在のことで忙しいから
4. 農村部と中心市街地のつながりが弱くなっているから

問3 下線部(2)「全国の農村部は、製造業を中心とした都市型産業の担い手の供給源であ
る」というのはどういうことですか。

25

1. 都市の労働者のために農村から農産物を送ること
2. 農村から都市産業に必要な材料や機械を送ること
3. 農村の人々が都市に出て労働力となること
4. 農村部を開発し、生産性の高い工場を建設すること

聽読解問題

説明

聽読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

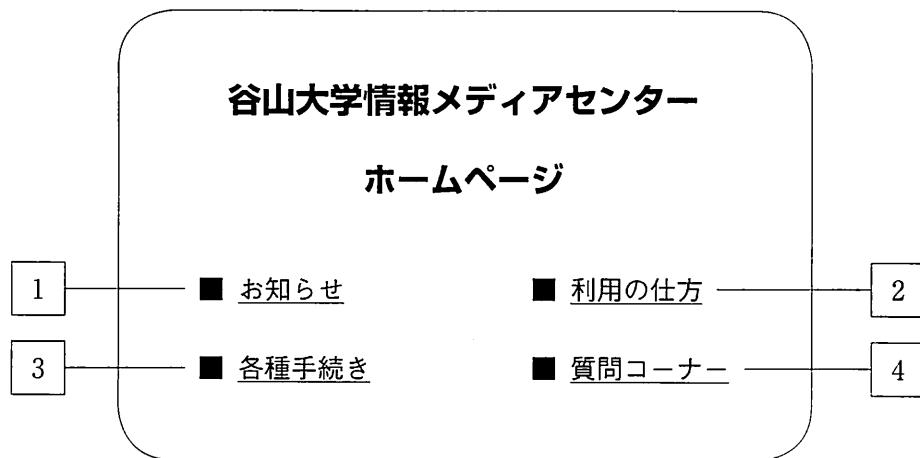
選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、聽読解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。

聽読解問題

練習

学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1番

女子学生と男子学生が、大学の集中講座のウェブページを見ながら話しています。この女子学生が受講したいと思っている講座はどれですか。

1

大阪科学技術大学 春期 集中講座

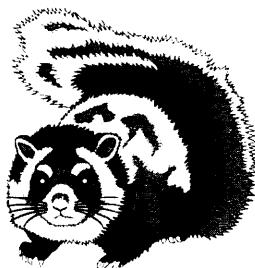
開催日時	テーマ	講師
1 3月19日(土) 20日(日) 13時～16時	身近なバイオサイエンス 生物多様性の観点から河川生物の食害について講演します。	山本一郎 (農学部・動物科学科・助教)
2 3月19日(土) 20日(日) 13時～16時	昆虫農薬による植物栽培 昆虫をバイオ農薬として利用する安全性について話します。	鈴木義男 (農学部・応用生物学科・教授)
3 3月26日(土) 27日(日) 13時～16時	東海地方の森林保全 森林保護の観点から、里山の保全について話します。	梶三郎 (農学部・環境学科・准教授)
4 3月26日(土) 27日(日) 13時～16時	農作業ロボットの開発 農作業の負担を減らすロボットについて話します。	田村紀夫 (工学部・機械学科・教授)

2番

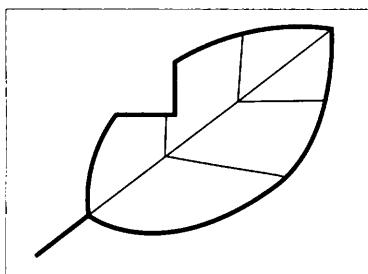
先生がムササビという動物の、葉っぱの食べ方を説明しています。この先生の説明によると、ムササビが柔らかい葉を食べた後の図はどれですか。

2

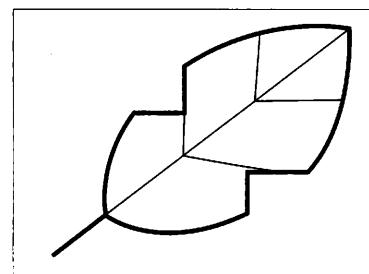
ムササビ



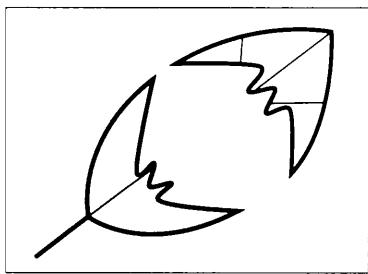
1.



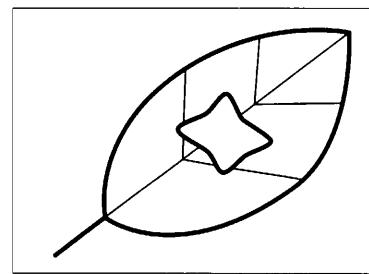
2.



3.



4.



(熊谷さとし『動物の足跡学入門』技術評論社 を参考に作成)

3 番

先生がマーケティングの授業で、広告の機能について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

3

マーケティング概論
資料

広告の機能

1. 営利的機能（需要喚起）	_____	1
2. 非営利的機能（公共情報提供）	_____	2
3. イメージ創造機能（付加価値創造）	_____	3
4. 社会・文化的機能（話題・娯楽提供）	_____	4

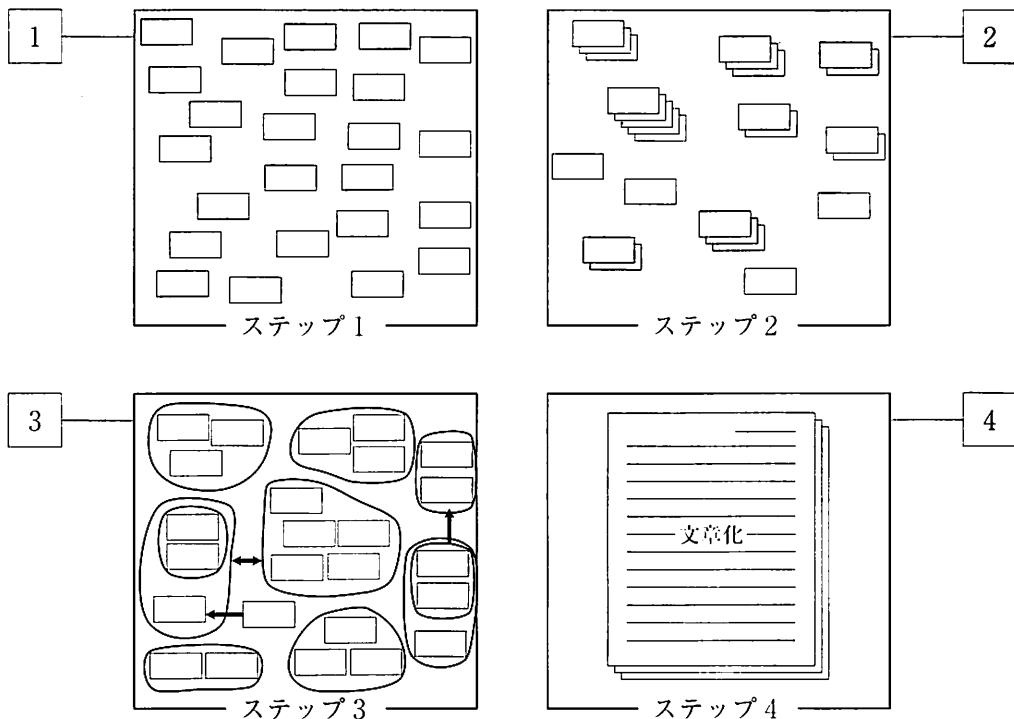
(小泉眞人「広告コミュニケーション」柏木重秋編『マーケティング・コミュニケーション』
同文館出版 を参考に作成)

4番

先生が、ある情報整理法について説明しています。この先生が注意が必要だと言っているのは、この方法のどの段階についてですか。

4

情報整理の4段階



(慶應義塾大学大岩研究室 CreW Creative Workspace 「カード操作による発想法」

<http://www.crew.sfc.keio.ac.jp/lecture/kj/kj.html> を参考に作成)

5 番

先生が、心理学の授業で、研究の方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

5

心理学研究 観察法の種類と観察形態

①観察法の種類

- ア) 自然観察法（日常的観察、組織的観察）
- イ) 実験観察法

②観察形態

- ウ) 参加型
- エ) 非参加型

(Jinkawiki 「観察法」

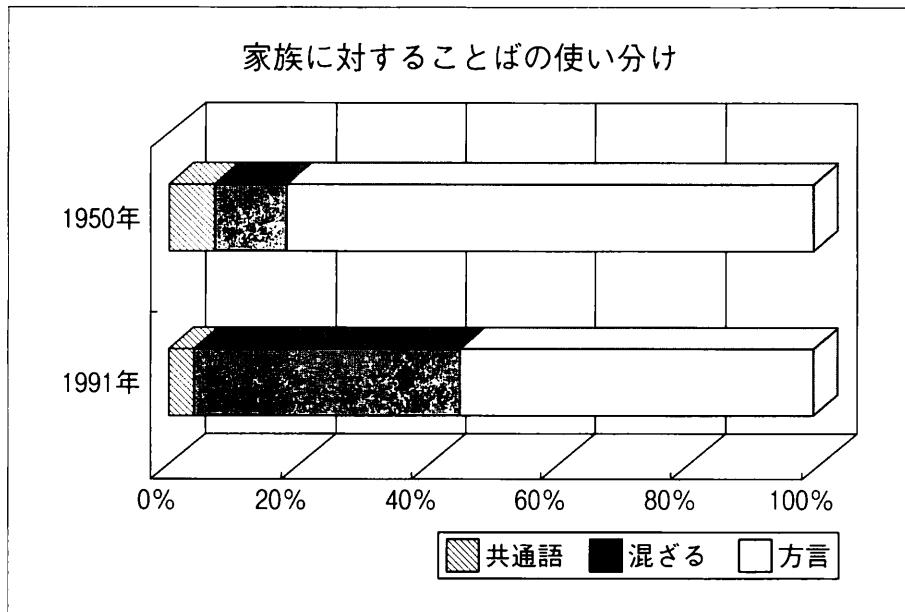
<http://kwww3.koshigaya.bunkyo.ac.jp/wiki/index.php/観察法> を参考に作成)

1. ア, ウ
2. ア, エ
3. イ, ウ
4. イ, エ

6番

先生と学生が、授業でグラフを見ながら議論しています。女子学生はこのグラフをどのように解釈しましたか。

6



(米田正人「社会言語学的調査に携わって」国立国語研究所『国語研の窓』第9号 2001年
を参考に作成)

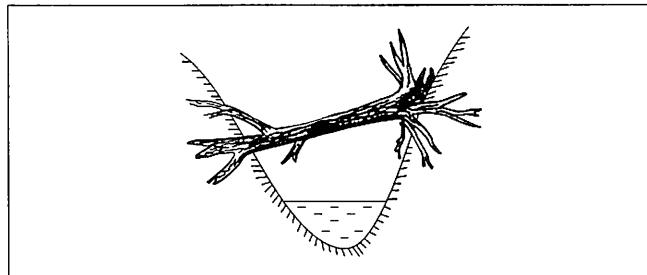
1. この地方では、方言だけで話せる人が少なくなってきたている。
2. この地方では、昔から家族内でも共通語を使う人が多い。
3. この地方では、話の内容によって言葉を使い分ける人が増えている。
4. この地方では、方言と共通語とを混ぜた新しい方言が生まれた。

7番

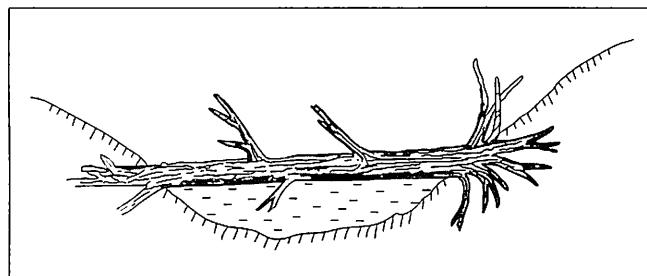
先生が、樹木による河川への影響について説明しています。この先生の話によると、倒れた樹木の周辺に多様な生物が生息しやすいのはどれですか。

7

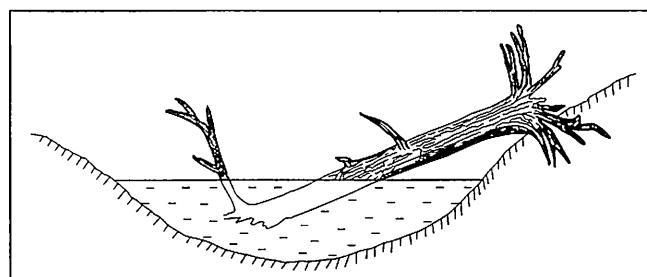
1.



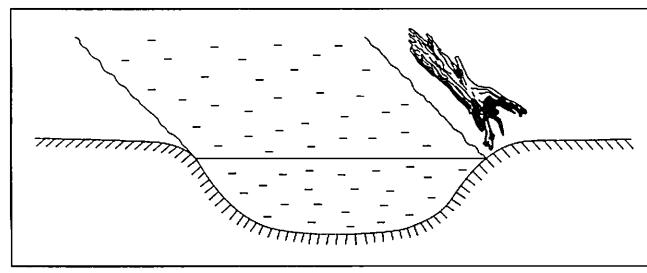
2.



3.



4.



(E・C・ピルー 古草秀子訳『水の自然誌』河出書房新社 を一部改編)

8番

男子留学生と女子学生が広報誌を見ながらボランティア活動について話しています。この男子留学生が、希望する活動に参加できない理由は何ですか。

8

ボランティア募集

名称	活動内容など
*病院ボランティア ひまわり	市立病院内で高齢者のつきそいやリハビリのお手伝い。 できるだけ毎日できる方。
*朗読ボランティア 朗朗クラブ	図書館で、目の見えない方のために本を読みます。 2時間ほどの研修あり。
*シルバーボランティア さんさん	高齢者としての経験を活動に生かしてみませんか？ 独居高齢者宅の訪問・高齢者向けイベントの企画など。

1. 漢字が苦手だから
2. 毎日はできないから
3. 研修が受けられないから
4. 高齢者ではないから

9 番

先生が、バイオマス産業社会について講義をしています。この先生が説明しているのは、
資料のどの部分ですか。

9

バイオマス産業社会の概要

I バイオマス産業社会の定義

II バイオマス製品の例

1. 燃料としての製品
2. 廃棄物を利用した製品
3. その他

1

III バイオマス利用のメリット

1. 比較的リサイクルが容易
2. 温暖化の原因とならない

2

IV バイオマス利用の問題点

1. 高いコスト
2. 未発達な商品開発

3

V バイオマス利用促進の方策

4

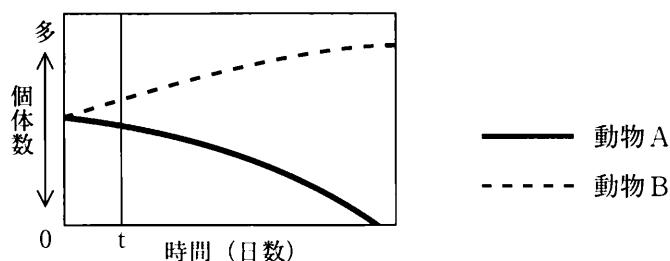
(原後雄太他『バイオマス産業社会』筑地書館 を参考に作成)

10番

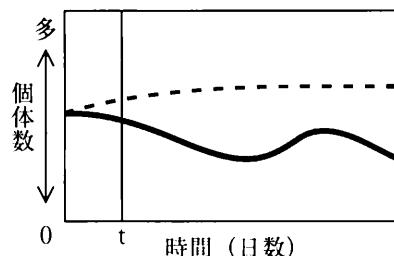
先生が生物学の授業で、同じ植物をえさにする動物AとBの競争について話しています。
この先生の話をグラフで表すと、どのようにになりますか。

10

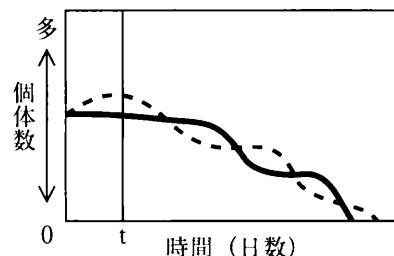
図1



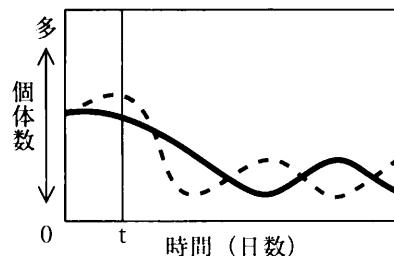
1.



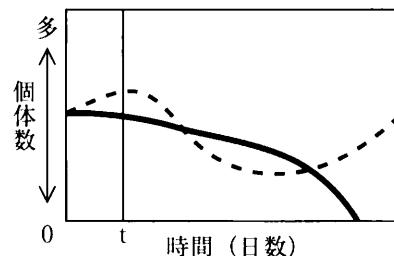
2.



3.



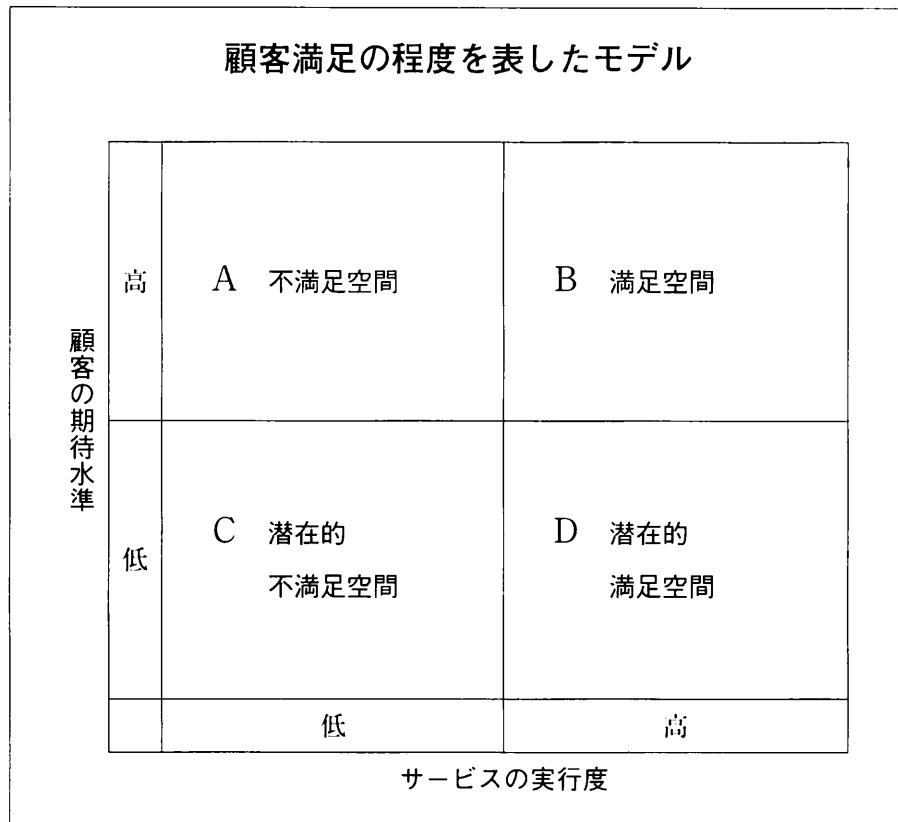
4.



11番

先生が、顧客満足の程度について話しています。この先生が挙げる例で、顧客満足はどの順序で変化しましたか。

11



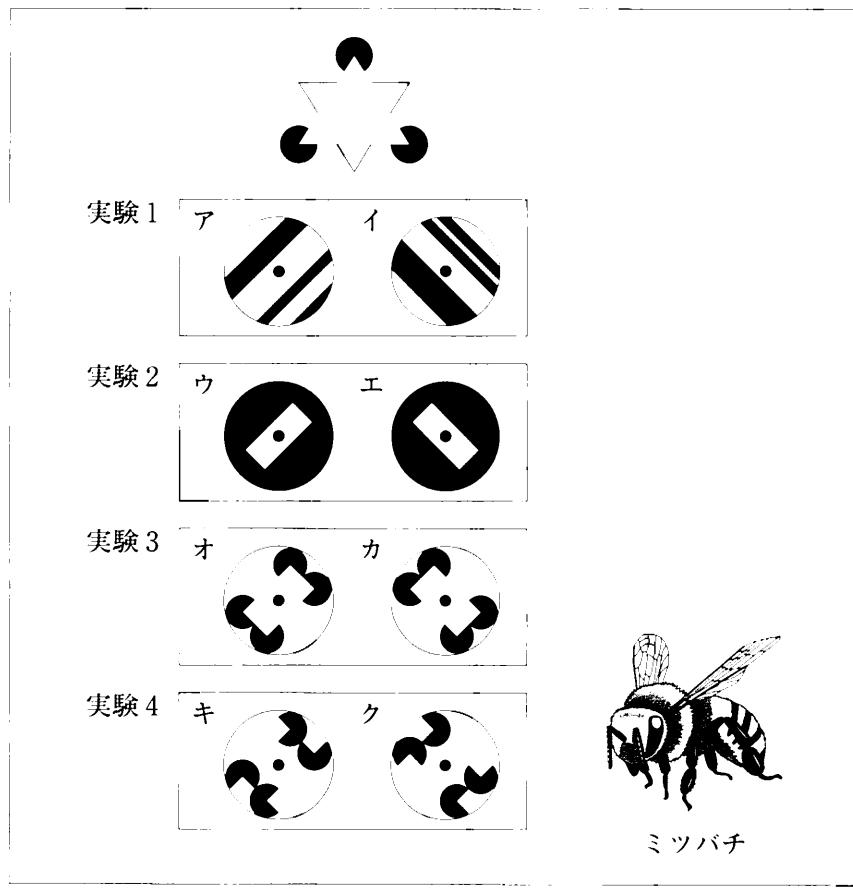
(嶋口充輝『顧客満足型マーケティングの構造』有斐閣 を参考に作成)

1. A → B → D
2. A → C → D
3. C → A → B
4. C → D → B

12番

先生が授業で、ミツバチの実験について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

12



(藤田一郎「世界は脳でつくられる」[milsil (ミルシル)] 第1巻第3号 協力：国立科学博物館)

1. 人もミツバチも錯覚する。
2. 人は錯覚するが、ミツバチは錯覚しない。
3. 人は錯覚しないが、ミツバチは錯覚する。
4. 人もミツバチも錯覚しない。

—— このページには問題はありません。 ——

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

- × モ -

— × モ —

- × モ -

● 聴読解問題スクリプト

Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

1番 女子学生と男子学生が、大学の集中講座のウェブページを見ながら話しています。
この女子学生が受講したいと思っている講座はどれですか。

女子学生：集中講座、何か受講するの？

男子学生：うん、これ。農作業ロボットだって。面白そうじゃない？

女子学生：うん、面白そうだね。私は何がいいかな。

男子学生：この、鈴木先生って、昆虫を農薬として使って植物を栽培する研究では、第一人者だよ。

女子学生：へー。昆虫農薬ねえ。でも、もっとわかりやすいのがいいな。人間と動物の関わりとか、どうしたら動物と人間が安全に暮らせるかとか、そういうことに興味があるんだけど。

男子学生：じゃ、動物科学か環境学は？ 動物科学の先生は、河川に住む生き物の食害がテーマ。環境学の先生は、森林保護などの問題がテーマだね。

女子学生：最近、クマやイノシシが農作物に被害を与えて問題になってるって聞いたけど、里山を守ることとも関係があるよね。これにしようかな…。

男子学生：人間も動物も住みやすい環境づくりについて考えるんだったら、それがいいんじゃない？

女子学生：そうだよね。これにする。

Track 7

2番 先生がムササビという動物の、葉っぱの食べ方を説明しています。この先生の説明によると、ムササビが柔らかい葉を食べた後の図はどれですか。

ムササビという動物は木の上で生活をし、手先がとても器用です。葉を食べる時は、上

手に手を使って葉を折ってから食べます。かたい葉は二つ折りにして折れ目のところをかじるようです。すると葉にはVの字形の歯形が残ります。また、柔らかい葉は四つ折りにして食べることが多いので、食べた後で葉を開くと、まん中に穴が空いています。このように葉の食べ方に特徴があるので、葉に残っている食べた跡を見れば、ムササビがそこにいたことがわかります。

Track 8

3番 先生がマーケティングの授業で、広告の機能について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

広告は本来、企業の販売促進のためのものです。つまり、商品やサービスについての情報を消費者に提供し、商品の売り上げを伸ばすのが最も本質的な機能といえるでしょう。この資料は広告の機能を分類したものですが、先ほどの、購買行動へ導く販売促進機能は、1の「営利的機能」にあたります。一方、「非営利的機能」とは社会への問題提起をし、人々の意識を高める機能です。また、「イメージ創造機能」は企業や商品ブランドのイメージをいっそう高める機能で、「社会・文化的機能」というのは、広告が人々に話題や娯楽を提供し、社会的に新たな文化を作り出す機能のことです。

では、具体例で考えてみましょう。広告で使われた表現が、その年の流行語になることは珍しくありません。それは、その表現が時代の感覚や社会の状況にぴったりと合っていて、人々がそれに面白みを感じるからでしょう。そんな広告は、この中のどの機能を持っていると考えられますか。

Track 9

4番 先生が、ある情報整理法について説明しています。この先生が注意が必要だと言っているのは、この方法のどの段階についてですか。

えー、情報整理には様々な方法がありますが、その一つをご紹介しましょう。この方法には四つのステップがあります。初めに、1枚のカードに一つずつ、テーマに関して思いついたことを書いていきます。一通り書き出したら、次にカードをグループに分類し、そのグループ全体を表す一文を書いたラベルカードを作ります。その後、グループ化されたカードを大きな紙の上に配置して、図式を作成します。このとき、内容的に近いと感じられたカード同士を近くに置き、カード間、グループ間を矢印で結んで関係を表します。最後に、配置されたカードの中から出発点を選んで隣のカードへとたどっていって、全ての内容が取り入れられるように文章にしていきます。

この方法で注意が必要なのは、関係作りをしていく段階です。このとき、重要な関係だけを選び出してカードを隣りに並べ、隣同士の間にだけ矢印を引きましょう。なぜかと言うと、文章にするときにいくつもの関係を明確に表現するのは難しいからです。

5番 先生が、心理学の授業で、研究の方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

心理学研究における「観察法」とは、人間の行動を、観察、記録、分析し、行動の特徴や法則性を明らかにする方法のことです。観察法は二つに分けられます。まず「自然観察法」ですが、これは日常の場面で対象者の行動をありのままに観察する方法です。次の「実験観察法」は、研究者がある条件を設定し、それにともなう対象者の行動や心理状態の変化を観察する方法です。

また、観察形態には、研究者が対象者と関わりながら観察する「参加型」と、関わりを持たずに観察する「非参加型」があります。「参加型」では、なぜそのように行動したのか、など、対象者に聞きたいことができたら、その場ですぐに質問ができます。一方、「非参加型」では、マジックミラーやビデオを使用して観察するので、対象者に観察者を意識させずに、対象者の自然な行動を観察することができます。けれども、その場で対象者に質問することはできません。

では、たとえば、ある研究者が長期にわたって、保育園でいつもどおりに過ごす子どもと関わりながら、子どもの心理や行動についての観察を行うというのは、どの方法とどの形態の組み合わせと考えられるでしょう。

6番 先生と学生が、授業でグラフを見ながら議論しています。女子学生はこのグラフをどのように解釈しましたか。

先生：このグラフは、ある地方における、場面による言葉の使い分けの変化を表したもので。家族に対し、共通語と方言のどちらを使いますか、という質問に対する回答をグラフにしました。上が1950年、下が1991年の調査結果です。このグラフから、どんなことが読み取れるでしょう。

男子学生：家庭内では方言だけで話す、という人がかなり減ってきてますね。どうもこの地方では、方言で話せる人が少なくなっているんじゃないでしょうか。

女子学生：いや、私はちょっと違う考え方なんです。91年の調査で、家族と話すときに共通語と方言とが混ざる、という人の割合が多くなってますね。

男子学生：ええ、そうですね。

女子学生：家族と話すときでも、話の内容などによっては、方言より共通語で話したほうがいい場合もあると思うんです。共通語と方言が混ざるっていうのは、実は、必要に応じて言葉を使い分けている、っていうことなんじゃないでしょうか。

男子学生：なるほど、そういう解釈もありますね。

Track 12

7番 先生が、樹木による河川への影響について説明しています。この先生の話によると、倒れた樹木の周辺に多様な生物が生息しやすいのはどれですか。

樹木が河川の水の流れに与える影響について考えてみましょう。

上流域では、河幅が狭すぎて、倒れた木は橋になります。倒れた木がダムのような働きをするのは、倒れた木が向こう岸に届く程度の河幅のところです。ここでは、倒れた木とそこに引っかかった落ち葉などが水の流れを堰き止めるので、木の上流側は水がたまって流れにくくなるのに対し、下流側は水が速く流れ、木の上流側と下流側に対照的な環境が生まれます。そのため、そこには多種多様な生物が生息します。下流域では、河幅が広すぎるため、倒れた木は向こう岸まで届かず、障害物となります。

Track 13

8番 男子留学生と女子学生が広報誌を見ながらボランティア活動について話しています。この男子留学生が、希望する活動に参加できない理由は何ですか。

男子留学生：市の広報に載ってたボランティア活動に申し込みもうと思うんだ。

女子学生：へえ、いろんな活動があるんだね。どれにするの？

男子留学生：漢字が苦手だから、この朗読、ってのはちょっとね。お年寄りに接する活動がいいかなって思ってるんだ。ぼく、大家族で育ったから、お年寄りの世話を慣れてるしね。あ、でも毎日は無理だから、こっちのにしようかな。

女子学生：家庭訪問とか、イベント企画ね…。あれ？これ、ダメじゃない。

男子留学生：え？どうして？

女子学生：「活動内容など」のところ、よく読んでみて。

男子留学生：…ああ、ってことは、ぼくは対象外ってことなんだね。

Track 14

9番 先生が、バイオマス産業社会について講義をしています。この先生が説明しているのは、資料のどの部分ですか。

前回の講義では、生態系に対して有害な物質を出さないバイオマス資源を利用したバイオマス産業社会について話しました。今日は、その続きです。

皆さんは、ホタテという貝を知っているでしょう。実は、このホタテの貝殻は、大量に放置・廃棄され、社会問題となっていました。そこで、ある企業と大学が共同でホタテの貝殻の利用方法を研究したところ、化学物質の吸収・分解作用があることがわかりました。そこで、ホタテの貝殻から、家を建てるときに使われる塗料が開発されました。従来の建築材料に含まれる化学物質の中には、頭痛や吐き気などの原因になる有害なものがありま

す。しかし、ホタテの貝殻を使った塗料は、そのような化学物質を吸収・分解し、原因物質の濃度を減少させることができると注目されています。バイオマス利用の問題点の一つとして商品開発が未発達なことなどは後でも述べますが、ホタテの貝殻を使ったこの例は、よい見本になるのではないでしょうか。

Track 15

10番 先生が生物学の授業で、同じ植物をえさにする動物AとBの競争について話しています。この先生の話をグラフで表すと、どのようにになりますか。

動物の種の間には厳しい生存競争があります。例えば、同じ植物をえさとするAとBと一緒に飼育すると、図1のように競争に負けたAがいなくなってしまいます。

しかし、ある時点、つまり、図1のtの時点でAとBの両方を食べる別の動物、これを捕食者といいますが、それを加えてみます。この捕食者が数の多い方を食べる場合、次のようなことが起こります。はじめは、BがAより数が多いので、Bが捕食者に集中的に食べられてしまいます。しかし、しばらくすると、Bの数が減って、AがBを上回るようになります。すると、今度はAが集中的に食べられるようになります。今度はAが減ってBが増え、Aを上回るようになります。そのあともこのようなことが繰り返されます。こうして、捕食者が数の多い方を食べることで、どちらの種もいなくならないというわけです。

Track 16

11番 先生が、顧客満足の程度について話しています。この先生が挙げる例で、顧客満足はどの順序で変化しましたか。

企業が提供している様々なサービスに対して、顧客が満足しているかどうかを、図のようなモデルで表すことができます。図の縦軸は、顧客が、そのサービスをどのくらい期待しているか、という顧客の期待の程度を示しています。横軸は、あるサービスがどの程度提供されているか、実行の程度を表しています。顧客の期待が高いのに、サービスの実行度が低い場合は、Aの「不満足空間」に入り、サービスの実行度が高ければ、Bの「満足空間」に入れます。また、顧客が特に期待しているわけではないけれども、あるサービスが十分に提供されていない場合は、Cの潜在的な不満足として捉え、サービスが十分に提供されている場合は、Dの潜在的な満足と捉えます。

では、あるビジネスホテルの例を考えてみましょう。このビジネスホテルでは、各客室に小さな浴室があるだけでしたが、顧客はそれが当然だと思っていた。しかし、客室の浴室とは別に、大浴場を作ったところ、大きなお風呂はリラックスできて疲れが取れると大好評でした。その情報が広がって宿泊客が増え、大浴場を目当てにこのビジネスホテルを繰り返し利用する客が増えたのです。

12番 先生が授業で、ミツバチの実験について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

私たちは、目に映る映像そのものを見ているのではありません。一番上の図を見てください。真ん中に、下が平らで上がとがった白い三角形が見えませんか。しかし、実際には線も色もありません。では、ミツバチもこのような錯覚をするのでしょうか。

まず、実験1の図を見てください。アとイには斜めの線が書かれていますが、アとイでは違う方向に書かれています。このような二つの図を用意し、アの図の中央の穴には普通の水を、イの図の中央の穴には砂糖水を置きました。そしてこれらの図を、通路の奥に一つずつ置いて、ミツバチを放しました。ミツバチは、通路を何度も行き来するうちに、イの図のほうへ飛んで行くようになりました。どちらに砂糖水があるかを学習したのです。次に、実験2の図に変えると、最初からエの図のほうへ飛んで行きました。では、実験3の図を見てください。この図には、斜めの線は書かれていませんが、ミツバチはこれまでと同様に、カの図のほうへ飛んで行きました。しかし、実験4では、ミツバチはどちらか一方の図を選ぶことができませんでした。つまり、線がない部分にも線があるかのように錯覚するかどうかについてまとめると、どんなことが言えますか。

● 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生と、先輩の女子学生が、大学祭の準備をしています。この女子学生は、来場者への説明について、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：あー、ちょっと、緊張してきたな。

女子学生：あ、ロボットの説明が心配なの？

男子学生：はい、大学祭は初めてだから、どんな人が見に来るかわからなくて。

女子学生：去年は、子どもからお年寄りまで、たくさん見に来てくれたよ。でも、緊張するのは一人目だけで、あとはすぐ慣れると思うよ。

男子学生：え、子どもも来るんですか…。

女子学生：もちろん。

男子学生：あー、じゃ、小学生にはわかりにくいかもしれないです。準備した説明に難しい言葉があるんで。

女子学生：うーん、それは、相手に合わせて、使う言葉を選ばないと。難しい言葉ばかり

だと、すぐ飽きちゃうんじゃないかな。

男子学生：そうですね。じゃ、もう一度見直してみます。

この女子学生は、来場者への説明について、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. 聞き手の年齢によって、説明の言葉を変えたほうがいい。
2. 緊張しないように、何度も練習したほうがいい。
3. 子どもが聞きやすいよう、目を見て話したほうがいい。
4. 二人目以降も、緊張感を持って説明したほうがいい。

(Track 23)

14番 先生が、生物学の授業で、ある種類の鳥の歌い方について話しています。この先生は、実験によって、この鳥についてどのようなことがわかると言っていますか。

鳥は成長すると、種類によって、それぞれ異なる歌い方をします。この歌い方は、生まれつき知っているものなのでしょうか。それとも生まれた後に学習するのでしょうか。実験によって、興味深いことが分かりました。ある種類の鳥は、まだ幼いときに親や仲間から引き離されると、ちゃんとした歌い方はできるようになります。しかし、そこで、録音した同じ種類の鳥の歌声を聞かせると、その声に興味を示し、やがて同じように歌い始めます。一方、別の種類の鳥の歌声を聞かせても、関心を示さず、別の種類の鳥の歌を歌えるようにはならないのです。

これは、鳥が生まれつき、自分の仲間の歌かどうかを識別する「型」のようなものを持っていて、その型を使って、仲間の歌い方だけを学習したのではないかと考えられます。

この先生は、実験によって、この鳥について、どのようなことがわかると言っていますか。

1. 生まれたときから自分と同じ種類の鳥の歌を歌う。
2. 生まれて初めて聞いた歌だけを覚えて歌う。
3. 自分と同じ種類の鳥の歌い方を聞き分けて歌えるようになる。
4. 学習すれば、違う種類の鳥の歌も歌えるようになる。

(Track 24)

15番 先生が、新しいペットボトルについて説明しています。この先生は、新しく開発されたペットボトルのこれから解決すべき問題点は何だと言っていますか。

ペットボトルは生産量そのものが非常に多いので、企業は資源の節約やコストの削減のために、ペットボトルの軽量化に努めています。軽量化が進めば、リサイクルにかかるコストやエネルギーの問題も改善されます。

最近、新たに開発されたペットボトルは従来のものよりもかなり薄く、軽くなっています。

す。ペットボトルが薄くなつたと聞くと、壊れやすくなると思うかもしれません、新しいペットボトルは、ボトルに波のような溝を入れて、圧力を分散させ、強度を保つしくみになっています。

ただ、ペットボトルの素材はもともと酸素を通しやすく、薄くすればするほど中身が酸化しやすくなります。そのため、新しいペットボトルの利用は、今のところ、水など、酸化の影響を受けにくいものに限られています。これから利用を広めるためには、さらなる技術開発が求められています。

この先生は、新しく開発されたペットボトルのこれから解決すべき問題点は何だと言っていますか。

1. コストが高いこと
2. リサイクルが難しいこと
3. 壊れやすいこと
4. 中身が変質しやすいこと

Track 25

16番 男子学生と女子学生が、食べ物の味がわからなくなる「味覚障害」について話しています。この女子学生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

男子学生：ねえ、味覚障害って聞いたことある？

女子学生：うん、食べ物の味がよく分からなくなるんでしょ？

男子学生：そう。実は僕、その味覚障害かもしれないと思って。どうも味の感じ方がおかしいんだ。

女子学生：亜鉛不足かな。味覚障害はたいてい亜鉛不足から起こるんだって。

男子学生：亜鉛かあ。亜鉛ってどんな食品に含まれてるの？

女子学生：レバーとか、わかめやこんぶなんかの海藻類、あとは、ごまかな。

男子学生：どれもあんまり好きじゃないなあ。栄養剤を飲もうかな。

女子学生：それよりもまずは病院で診てもらったほうがいいよ。ストレスや疲れからくる一時的なものかもしれないし。栄養剤を飲むのはそれからでも遅くないんじゃない？

男子学生：そうだね。

この女子学生は、男子学生にどんなアドバイスをしましたか。

1. 亜鉛を多く含むものを食べるといい。
2. 栄養剤を飲むといい。
3. 病院で診察してもらうといい。
4. ゆっくり休むようにするといい。

(Track 26)

17番 先生が、科学の研究について話しています。この先生は、科学研究のどんな役割に注目していますか。

みなさんは、「人の役に立つ科学の研究」というのはどういうことだと思いますか。よく「科学技術」という言葉で、「科学」と「技術」が一緒に使われることがあります。私は、本来、科学と技術は別のものであると考えています。科学の研究が、新しい病気の治療法や薬の開発といった技術につながるのは、すばらしいことです。しかし、科学研究は、社会的・将来的に役立つ結果を残すことだけが役割ではありません。昔から人間が気づいていたことを科学的な理論を用いて説明し、「なんとなくそうじゃないかと思っていたけど、なるほど、やっぱりそうだったんだ」と納得させること。私は、これが科学研究の本来の役割ではないかと思っています。

この先生は、科学研究のどんな役割に注目していますか。

1. 技術開発につながる理論を生み出すこと
2. 様々な現象を理論的に説明すること
3. 人間社会の将来を明確に予測すること
4. 役立つ新しい技術を開発すること

(Track 27)

18番 先生が、スポーツの新しい考え方について話しています。この新しい考え方では、スポーツをどのように行ったらいいと言っていますか。

最近、スポーツに対する新しい考え方が出てきました。スポーツをする人には、若くて元気な人もいれば、お年寄りもいるし、一人一人の能力や体力、環境は様々です。ですから、誰もがスポーツ選手と同じようなやり方でスポーツをすると、無理をしてしまい体を壊したり、また、勝ち負けにこだわるあまりスポーツを楽しめなくなったりします。そこで、人がスポーツのルールに合わせるのではなく、参加する人の多様性を考えて、人にスポーツのルールを合わせることが必要になってきたのです。

この新しい考え方では、スポーツをどのように行ったらいいと言っていますか。

1. 勝つために体力作りを重視する。
2. 技術やタイムを競って勝つことを目指す。
3. スポーツ選手と同じルールを使う。
4. 参加者の能力に合わせてやり方をかえる。

19番 男子学生と女子学生が、服を着るということについて話しています。この男子学生は、大昔の人にとって、服を着ることの一番の意味は何だったと言っていますか。

男子学生：ねえ、人が昔から服を着てるのは、どうしてだと思う？

女子学生：それは、服を着ていないと恥ずかしいからじゃない？あと冬は寒いし。

男子学生：うん、それもあるけど、もっと違う意味もあるんじゃないかなって、今日授業で聞いて思ったんだ。

女子学生：え、何？

男子学生：大昔の人はさ、動物の皮とかで服を作つただろ。

女子学生：うん。そうだね。

男子学生：寒さをしのいだり、体を守つたりももちろんだけど、それより、おまじないのよう、自分たちが倒した動物の皮を着ることによって、野生の生命の力みたいなものをもらって、自分が強くなるっていう意味があるんじゃないかなって思うんだ。

女子学生：へえ、狩りをして生活していた人たちにとっては、そういうことのほうが大事ってこと？

男子学生：うん。

この男子学生は、大昔の人にとって、服を着ることの一番の意味は何だったと言っていますか。

1. 寒さから身を守ること
2. 恥ずかしさを感じないこと
3. 狩りで動きやすくすること
4. 動物の生命力を得ること

20番 先生が、授業で高齢者の介護について話しています。この授業で、このあと話題になるのは、どんなことですか。

年をとって一人で暮らせなくなると、人は誰かに世話をしてもらう、つまり介護が必要になります。介護は、高齢者の家族がするとは限らず、専門家が行うこともあります。自宅で介護を受けられない場合は、大きな施設で専門家の介護を受けることがあります。家庭的な環境が失われやすいのがこのケースの問題でした。そこで、一般住宅を使った小さな施設で、少人数の高齢者が専門の介護を受けるという新しい施設が誕生しています。家庭的な雰囲気がお年寄りの心を明るくする効果が考えられます。このように介護の形は多様化してきていますが、新しい介護のことは一般にあまり知られていないようです。高

齢者や家族が介護の形を自由に選べるようなしきみを作るにはどうすればよいか、今日はそこから考えてみましょう。

この授業で、このあと話題になるのは、どんなことですか。

1. 自宅で介護をする方法
2. 大きな介護施設の利点
3. 介護方法を選ぶしきみ
4. 小さな介護施設の問題

Track 30

21番 先生が、生物の授業で話しています。この先生は、ホタルイカが光るのは、どうしてだと言っていますか。

みなさんはホタルイカというイカを知っていますか。ホタルイカは、体のいくつかの部分に光る器官を持っていて、光を出しています。では、何のために光るんだと思いますか。実は、ホタルイカが光るのは太陽が出ている昼間だけです。泳いでいるホタルイカの体の上半分、背中側に太陽の光が当たると、体の下半分、つまりお腹の側は影になります。すると、ホタルイカより深いところにいる魚からは、ホタルイカが黒く見えることになります。明るい海の中で黒く目立つてしまうと、ホタルイカをえさとする大きな魚にすぐに見つかってしまい、食べられやすくなってしまいますね。それでホタルイカは、自分の体に受ける光と同じ明るさの光をお腹の側から発しているのです。

この先生は、ホタルイカが光るのは、どうしてだと言っていますか。

1. えさをおびき寄せるため
2. 自分の体を大きく見せるため
3. 敵を発見しやすくするため
4. 敵から見つかりにくくするため

Track 31

22番 男子学生と女子学生が、あるボランティア活動について話しています。この女子学生がしている活動は、どんな内容ですか。

男子学生：ねえ、ボランティアで、捨てられたネコや飼い主のいないネコにえさやってるんだって？

女子学生：うん。かわいそうなネコを一匹でも減らしたいと思って、そういうボランティアグループに参加してるんだ。

男子学生：それって、つまり、その団体が飼ってるってこと？

女子学生：ううん、そうじゃなくて、えさをやり続けて、ネコが人間に慣れたところで捕まえるの。それで、新しい飼い主を探したりしてるんだ。飼い主が見つかれば、人間にとってもネコにとってもいいでしょ。

男子学生：なるほどね。でも、それより、飼い主の無責任な飼い方について訴えたほうがいいんじゃない？

女子学生：うん。それもやりたいとは思ってるんだけどね。

この女子学生がしている活動は、どんな内容ですか。

1. ネコの前の飼い主を探すこと
2. 病気のネコをつかまえて保護すること
3. 飼い主のいないネコを減らすこと
4. 責任をもってネコを飼うように飼い主に呼びかけること

Track 32

23番 女子学生が、ある自治体の取り組みについて発表しています。この自治体で新しく始めた事業とはどのようなものですか。

今日は、ある自治体が新しく始めた取り組みについてご紹介したいと思います。この自治体には、生活資料館という施設があり、昔使われていた生活道具などを展示しています。この資料館と、高齢者が集まる施設が協力しあって、新しい取り組みが始まりました。それは、お年寄りに昔の道具を見てもらって、昔のことを楽しくおしゃべりしてもらおうというものです。そこで、昔のお弁当箱や洗濯に使った道具、古い教科書などを一つの箱にまとめ、この箱を高齢者が集まる施設などに、無料で貸し出すことにしました。

懐かしい道具をきっかけに、高齢者が子ども時代を思い出し、楽しく話して、心も元気になればいいと思います。

この自治体で新しく始めた事業とはどのようなものですか。

1. 資料館に高齢者を無料で招待する事業
2. 資料館の古い道具を高齢者がいる施設に貸し出す事業
3. 資料館で昔の生活道具を展示する事業
4. 資料館で古い道具について高齢者に説明してもらう事業

Track 33

24番 通信販売サービスセンターの男性と客の女性が、注文した商品の扱いについて話しています。この女性は、その商品をどうしますか。

男性：はい、東京通信販売サービスセンターです。

女性：あのう、注文した商品に壊れてるところがあるって。

男性：申し訳ございません。すぐにお取り替えいたしますので、こちらにお送りください。

女性：ああ、送料はどうなりますか。

男性：商品が到着して2週間以内でしたら、送料はこちらで負担いたします。

女性：あのう、実は、箱を開けずに、2週間過ぎちゃったんですけど。

男性：そうしますと、まだ保証期間中ですからお取り替えはできますが、送料はご負担い、ただくことになります。

女性：わかりました。商品の保証書はこちらで保管しておいていいですか？

男性：いえ、それも同封なさってください。

女性：わかりました。

この女性は、その商品をどうしますか。

1. 交換する。
2. 返品する。
3. 修理する。
4. 保管する。

Track 34

25番 先生が、経営学の授業で、ある弁当屋の販売戦略について話しています。この販売戦略の特徴は、どのようなものですか。

商品販売においては、商品が売り切れてしまうことは、利益を得る機会を逃すことになります。ですから、最初から売れ残ることも考えて、たくさんの商品を揃え、売れ残り分を計算に入れて値段を決めることが、ビジネスの世界の常識です。

しかし、今日はその常識を覆したある弁当屋の販売戦略についてお話しします。この店では、売れ残りを出さないように、毎日必ず夕方に半額セールをしています。当然、定価で販売するよりも利益が少なくなる上に、夕方に半額になることをお客様も知っているので、定価では売れにくくなってしまいます。しかし、このセールには、材料の無駄を省いたり、売れ残り分が定価に反映されるのを防いだりする、さらには従業員が「売れ残りを見込んでいるのだから、売れ残っても問題ない」という気持ちになるのを防ぐという効果があるのです。

この販売戦略の特徴は、どのようなものですか。

1. 商品を売り切ることを目指すこと
2. 商品を必ず定価で販売すること
3. 売り切れないように商品を十分に揃えること
4. 売れ残り分を計算に入れて値段を決めること

26番 男子学生が、電車内での携帯電話の使用と人々の反応を調査した結果を報告しています。この男子学生は、携帯電話の使用に反応した人の割合について、どのようなことがわかったと言っていますか。

電車の中で携帯電話をどのように使うと、周りの人は反応するのか、実際に電車に乗って、乗客を観察して調べてみました。その結果、電車の中でのメール操作については、周りの人々はあまり気にとめないので比べ、通話については、電話している人のほうを振り返るなど、反応を示す人が多いことがわかりました。このような反応は、朝夕の混雑時でもそれ以外の時間でも、ほとんど違いが見られませんでした。

また、携帯電話の電源をOFFにしなければならない車両が設けられている鉄道で、そのような車両と一般の車両を比較してみましたが、人々の反応に違いは見られませんでした。ポスターやホーム内の放送で、電源OFF車両では携帯の電源を切るように呼びかけていましたが、こうした呼びかけにはあまり効果がないこともわかりました。

この男子学生は、携帯電話の使用に反応した人の割合について、どのようなことがわかったと言っていますか。

1. 電車がすいている時より、混んでいる時のほうが多い。
2. メール操作に対してより、通話に対してのほうが多い。
3. 一般車両より、電源OFF車両のほうが多い。
4. ホームより、電車内のほうが多い。

27番 先生が、健康心理学の授業で話しています。この先生が問題だと感じているのは、どんなことですか。

誰でも健康でいたい、なるべく病気にはなりたくないと思っていますね。しかし現実には、私たちは、すぐに体に悪い影響が現れないようなことについては、過小評価、つまり実際より問題を小さく評価する傾向があります。健康を害するおそれがあると分かっていても、自分が好きな食事ばかりを選んで、偏った食生活を送っている人が大勢いるでしょう。過度な飲酒や喫煙なども同じです。今、特に痛みを感じるわけでも、調子が悪いわけでもないので、客観的に考えて、自分にも病気の危険があるとは強く思えないのです。実は、これは自ら病気になる可能性を高める行動を選んでいるともいえる、重大な問題です。

この先生が問題だと感じているのは、どんなことですか。

1. 健康に気を遣いすぎて、神経質になってしまうこと
2. 健康に害を及ぼすものが多く出回っていること

3. 健康に悪いものに対する正しい評価ができないこと
4. 健康に自信の無い人が増えていること

平成23年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を329ページに掲載

読解		
問	解答欄	正解
I	1	2
II	2	4
III	3	4
IV	4	3
V	5	3
VI	6	2
VII	7	1
VIII	8	1
IX	9	1
X	問1 問2	10 11 3 2
XI	問1 問2	12 13 2 4
XII	問1 問2	14 15 3 4
XIII	問1 問2	16 17 2 3
XIV	問1 問2	18 19 1 3
XV	問1 問2	20 21 1 4
XVI	問1 問2 問3	22 23 24 2 3 4 3

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	3	13番	13	1
2番	2	4	14番	14	3
3番	3	4	15番	15	4
4番	4	3	16番	16	3
5番	5	1	17番	17	2
6番	6	3	18番	18	4
7番	7	2	19番	19	4
8番	8	4	20番	20	3
9番	9	1	21番	21	4
10番	10	3	22番	22	3
11番	11	4	23番	23	2
12番	12	1	24番	24	1
			25番	25	1
			26番	26	2
			27番	27	3

「記述」問題解答例

①

科学技術の発展の恩恵と問題点について、インターネットの買い物を例に取り上げ論じたい。

ネットの普及は、私たちの生活に多くの恩恵をもたらした。利便性の典型的な例が買い物である。今は、ネットを通して、家にいながらにして世界中の商品の情報を知り、簡単に注文、決済ができる。そして、商品の入手までごく短時間しかからない。買い物に行くのが難しい多忙な人にとって、これは、とても便利だ。

しかし、この利便性の裏には、危険もある。決済や配送のためには、クレジット・カードの番号や住所等、個人の重要な情報を、ネットを通してやり取りすることになる。この個人情報を盗み出し、悪用する犯罪が後を絶たない。また、パソコンの画面のボタンを押すだけで買い物ができるため、お金を使うという実感が、店で紙幣を出して買うときよりも薄くなる。この気軽さが、お金の使い過ぎにつながる可能性もある。

このネットの例のように、科学技術は、私たちにとって良い面だけでなく、危険な面も併せ持つものである。科学技術の恩恵を受ける側は、常にそれを意識しておく必要がある。(459文字)

②

競争の長所と短所について、競技スポーツという視点から考えてみたい。

競技スポーツには、過酷な競争と、その結果としての勝敗がある。

そのため、長所としては、勝つために努力を重ねることで競技力が高まるということが挙げられる。器械体操を例とすれば、もともと技の難度はA～Cの3段階だった。しかし、難度の高い技であるほど高い得点が得られるため、より高度な技が開発されるようになった。それに伴って、より難しいD難度、E難度が導入され、現在ではG難度まである。この様に、競争することによって、以前には考えられなかったほどに技が高度化してきた。

一方、短所としては、勝つためならどんなことでもするという風潮が生まれることが挙げられる。例えば、選手に心身の健康を害するほどの練習を課す、ドーピング行為や違法行為ぎりぎりのことをさせるといったことである。あるいは、過酷な競争そのものが大きなストレスとなり選手の精神をむしばむこともある。

このように、競争することは技術の向上につながるが、人間を苦しめる要因にもなると言える。(451文字)

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。
40点	かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
35点	(レベルB)
30点	課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
25点	(レベルC)
20点	課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA、B、Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

*0点(NA)に該当する答案は以下のとおりである。

- 白紙のもの。
- 全文が日本語以外の言語で書かれているもの。
- 全文が課題文の引き写しで終わっているもの。
- 与えられた両方の課題（①と②）について書かれているもの。
- 与えられた両方の課題（①と②）の、どちらについて書かれているか判断できないもの。
- 与えられた課題とまったく無関係なことが書かれているもの（問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している、あるいは自己紹介で終わっている等）。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至当な理由があると判断されたもの。